

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福岡県立ひびき高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☒ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒 804 - 0041

福岡県北九州市戸畑区天籟寺 1 丁目 2 - 1

E-mail toi@hibiki.fku.ed.jp

Website http://hibiki.fku.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 324 名 女子 411 名 合計 735 名

幼児・児童・生徒の年齢 15 歳 ~ 84 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自助・自敬・信愛」を学校理念として、ESD を日々の教育活動の礎と捉え、ESD の実践を通して持続可能な社会の担い手となる生徒の育成を目標とした。

具体的には、国際理解教育、環境教育を柱に、①国際交流に係わる活動、②環境保全に係わる教育、③異文化理解に係わる学習を行った。

① 国際交流に係わる活動

海外研修や国際交流の受け入れを通してコミュニケーション能力の育成を図った。具体的には「日韓高校生交流事業」「トビタテ！留学 Japan 日本代表プログラム」「高校生イングリッシュキャンプ（県教委主催）」などの参加や、ESD 日米教員交流プログラムの一環として、学校見学の受け入れなどを行った。

② 環境保全に係わる教育

本校の学校設定教科である「環境センシング技術」の授業を通して、環境保全における課題意識を高めるとともに、学校行事などで発表・展示を行うことによって学校全体の意識向上を図った。校外活動としては「エコライフステージ2017（西日本最大級の環境イベント）」に参加し、地域の一員という立場でそこに生活するものの義務と責任を考える機会とした。

また、生徒会やボランティア部の生徒と連携し、エコキャップや古紙の回収などの活動を行った。年に一度は「ESD 講演会」として外部講師を招聘し、生徒の環境に関する知識と視野を広げる取り組みを行っている。

③ 異文化理解に係わる学習

グローバルキャリア人の育成を目指し、積極的に海外研修への参加を促した。①に挙げた活動に加えて、本校が独自に企画しているハワイへの海外研修（1週間程度）への参加を通して、交流の素地となる自他の文化や風土、価値観などの理解を深めた。また、参加した研修は必ず学校や地域に発表の場を設け、アウトプット活動を行うように指導した。

また、学校設定教科「ハングル」「中国語」「異文化理解」の授業において、語学教育と異文化理解教育を実施した。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16.ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応と

「ユネスコスクールの取組の推進」は学校運営方針の中の重点目標に位置づけられ、環境教育と国際理解教育を柱としている。具体的目標は生徒を地域や海外の交流活動に積極的に参加させることで、生徒の個性や適性に応じた自己実現と心身の豊かな成長を目的とした。

指導方法の工夫改善については、ESD 授業週間を設けることで自らの教育活動を見直す機会とし、同時に他の先生方の活動を知ることによって知識や視野を広げる役割を果たしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ESD の視点を7つの柱で表し、各自いずれかの視점에重点を置き授業を行う「ESD 授業週間」を年に2回実施している。改めて視点を意識することで自分の授業を客観的に点検する機会になり、各先生方から提出された報告書をまとめ、公開することで更に授業改善のヒントにもなっている。

年に1度、外部講師を招聘し「ESD 講演会」を行っている。より専門的な知識を身につけ視野を広げ、更に発展的なESD活動につなげている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

③で述べた「ESD 授業週間」で具体的な実践と自己評価を行っている。7項目を授業の視点とし、それぞれ重点目標を設定し、授業方法の工夫やその評価を行った。前年度まで各自の活動で終わってしまっていたが、全教員に結果を公表することでお互いの意識や技術の向上につながった。

一方、近隣にユネスコスクールと認定されている学校が少なく、他校交流が持てなかったという課題が残った。今後は大学などとの連携を模索していく。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

実際は推進拠点校としてのアウトプットがほとんどできていない。北九州市の ESD 協議会に名を連ねてはいるが、実際は学校内のみの活動、報告に終わっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

北九州 ESD 協議会に参加。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ESD という言葉そのものになじみが薄かったが、やっと先生方にその概念が浸透してきたといった感じである。特筆すべき内容とまではいかないが、授業改善に役立っていることが一番の効果であると思う。

（３）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

【学校行事等】

- ・ ESD 授業週間（6 月、11 月）
- ・ ESD 講演会（10 月）
- ・ タイ王国より生徒・教員の視察受入（5 月）
- ・ 生徒海外研修（1 月）
- ・ 北九州エコライフステージ（10 月）

【取組予定】

- ・ エコキャップと古紙の回収
- ・ 被災地復興支援
- ・ 防災教育
- ・ 食育等の健康教育